みやぎのかけがえのない命を守って下さい

元通りの環境に国や東電の責任で戻して下さい。

・ 除染や廃棄物の置き場の問題も責任を持って進めて下さい。このふるさとに住むいいところが台無しになってしまいました。

線量に応じた対応をして下さい。

・ 福島以外にも目を向けて下さい。例えば、宮城から福島に勤務・通学しているなど生活によっても線量が変化します。県境による対応を見直して下さい。

早期の福島原子力発電所事故収束をお願いします。

・ 汚染水の問題、放出されている放射能などの問題を早期に全力で解決して下さい。次に地震が起きたらと思うと本当に不安です。

正確な情報を迅速に提供して下さい。

・ モニタリングポストの数値は正しく、そして地域の線量を示すべきだと思います。

不安を安心に変えて下さい。

・ 事故後の対応は反省すべき点が多かったことをふまえると、子どもたちの健康への影響が本当にないのかどうか不安です。また、福島では早期に対応していたのに、県外ということで対応が遅くなってしまったことも事実であり、余分な被ばくをしていたとも推察されます。健康調査も調べて終わりでは困ります。被ばくした量はリセットできません。必要な検査を未来に健康であるための処置とともに受けられることが望まれます。

現実問題としては少しでも放射線を防護するための支援もお願いしたいと思います。例えば、防護シートの無償提供など。毎日放射能とともに暮らさなければならない住民（特に子どもたち）を救って下さい。

平成25年3月14日

こすごう子どもを守る会　会長　　古山　智子